



<ラジオ放送のあゆみ>

日本におけるラジオ放送が始まって90年がたち、その後、テレビ放送FM放送へと放送メディアは順調に成長し続けています。今回は、ラジオ放送の「あゆみ」について、無線通信の発達と合わせて眺めてみましょう。

☆ ヘルツ（周波数のHzです。）の登場！ 最初の電波は雑音電波？

周波数の単位にもなっているヘルツの発明の話です。ヘルツはドイツ人で以前から理論化されていたマックスウェルの「電波」の電磁波理論を1888年、実験にて「電波の発生」をして確認しました。このときの発生した電波は、今の世の中では迷惑ものの雑音電波でした。

☆ マルコーニらが無線通信の実験に成功……通信会社設立！

1895年、ロシアのポポアとイタリアのマルコーニが無線通信の実験に成功しました。マルコーニは企業化の環境に恵まれたロンドンにて1897年無線通信会社を設立しました。当時の通信距離は僅か14km程度でした。その後、1901年イギリスとカナダ間の4300kmの大西洋横断無線通信に成功しました。ポルドウの送信所には扇形に幾条も導線を張ったアンテナを建てモールスのS信号を送信し、カナダのセントジョンズではアンテナ線を付けた凧を上げ信号の受信に成功しました。

☆ 世界初の「ラジオ放送」実験に成功！

アメリカでは、1903年フェッセンデンとアレキサンダーソンがニューヨーク近郊で高周波発電機（80kHz）を使って無線電話（ラジオ放送）の実験に成功しました。

☆ 世界初のラジオ放送の始まりは？

1906年クリスマスイブにフェッセンデンとアレキサンダーソンがニュ

- ーヨーク近郊から、初めて「演説と音楽」の電波を放送しました。その後、1908年パリのエッフェル塔からの放送実験も始まりました
- ☆ ラジオ放送開始までの各種業績を紹介すると次のようになります。
電界検波器の発明 電離層の存在の発見 シリコン鉱石検波器の発明
2極管の発明 3極管の発明 同調回路の発明 真空管式発信器の発明
 - ☆ 日本初の無線送受信に成功！
1900年(明治33年) 逓信省電気試験所が千葉県八幡に42m送信アンテナを建て16kmはなれた津田沼の16mアンテナで受信に成功しました。
1903年(明治39年)には、長崎県三重村と台湾基隆市間1000kmで長距離無線通信の実験を行い夜間は成功しましたが昼間は不感でした。
 - ☆ 日本最初の無線電信局の開設
1905年(明治41年)に千葉県銚子市に無線電信局(海岸局)が開設され、船舶にも官設の無線電信局を設置しました。
 - ☆ 搬送式無線電信電話装置を実装し試験運用開始
1919年(大正8年)、東京、横浜、大阪、神戸に搬送式無線電信電話装置試験運用を開始しました。搬送周波数は20.50kHzでした。
 - ☆ 高周波発電機使用の対米通信を開始！
1922年(大正11年)、福島原町送信所に出力400kW、500V、19.6kHzのアレキサンダーソン高周波発電機を設置し使用を開始しました。
 - ☆ 日本最初のラジオ放送の始まり！
最初のラジオ放送は、1922年(大正11年)、上野公園で開催中の平和記念博覧会の場と京橋の「朝日新聞本社」間で行われました。放送内容はニュースや音楽の実験電波が発射され、その後、東京日日新聞(後の毎日新聞)、報知新聞が実験放送を開始しました。
 - ☆ 船舶と一般加入者との電話通話が可能となる
1923年(大正12年)、神戸港にて船と港、港と一般加入電話の接続を行い、通話が可能となりました。
 - ☆ 東京大震災時の被害状況伝達と救援依頼に活躍！

1923年(大正12年) 電話が使用不能となったため横浜港に停泊中の「これあ丸」の船舶無線によりやっと大阪に被害状況伝達と救援依頼が伝わりました。

☆ (社)東京放送局の設立 ……検査に通らず延期後の放送開始!

放送を国営にするか民営にするか議論すえ、1924年(大正13年) 政府統制化の公益法人とすることとなり(社)東京放送局が設立され、引き続き、大阪、名古屋にも設立されました。東京放送局は、芝浦の仮放送所から1925年(大正14年) 3月1日放送開始の予定でした。しかし、検査によって施設の不備が指摘され3月22日に延期されました。この日が現在の放送記念日になっています。

☆ (社)日本放送協会の誕生

1926年(大正15年) 8月、ラジオ放送の全国展開を目指して、紆余曲折はあったものの大阪、名古屋各放送局を併合して(社)日本放送協会(NHK)が誕生しました。

☆ 次の出来事がラジオの普及におおきな影響をあたえました。

- ・ 1936年(昭和11年) 2. 26事件の「兵に告ぐ」
- ・ 1936年(昭和11年) 8月 ベルリンオリンピックの「前畑がんばれ」
- ・ 1941年(昭和16年) 12月の真珠湾攻撃の「帝国陸海軍は今8日未明、西太平洋において米・英と戦闘状態に入れり」
- ・ 1945年(昭和20年) 8月15日 天皇の戦争終結(玉音) 放送

☆ 放送法の制定と民間放送局の出現!

1950年(昭和25年) 放送法が制定され(施行6月)一般放送局(民間放送)設置が認められました。同時にNHKは特殊法人化されました。

☆ 民間放送の開局……朝鮮戦争のため免許お預けとなる!

1950年(昭和25年) 6月に突然起こった朝鮮戦争のため免許はお預けとなりましたが、翌1951年(昭和26年) 4月に全国16の民放に予備免許が与えられました。

☆ 民放開局第1号は、名古屋の……………

民間放送の第1号は、1951年(昭和26年) 9月1日開局した名古屋の中

部日本放送(CBC)と大阪の新日本放送(NJB……あとの毎日放送 MBS)でした。

☆ 周波数間隔を10 kHz から9 kHz に変更

世界無線通信主官庁会議にて、日本が属する第3地域の長中波周波数割当計画を見直し、第1地域(ヨーロッパ等)と第2地域(アメリカ等)と同じ525 kHz~1605 kHz の間に9 kHz 間隔で109波を使用するよう変更になりました。わが国では、1978年(昭和53年)11月にこれを1晩にて実施しました。この結果、外国電波の混信でピーピーという混信音にて悩まされることが少なくなりました。

追記 「放送」という言葉の始まり

アメリカでは、ラジオ放送が開始された当時、無線電話を「radiotelegraphy」と呼んでおり、それを略して「ラジオ」と呼んでいた。日本では1917年(大正6年)商船「三島丸」の通信日記に「放送」という文字が書き込まれたのが始まりといわれています。